

HSK 毎月十二回(一・三・五・八・十一・十三・十五・十八・二十・二十三・二十五・二十八日)発行
一九九四年八月四日 第三種郵便物承認

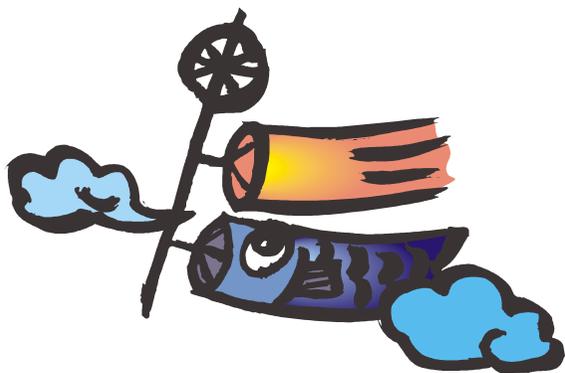
HSK

遊ぼうよ

No. 57



3月に牧口さんの講演会を開催しました。



5月、サントラムに乗車してみました。



脳性麻痺の二次障害に関する座談会

最終回

今回は前回に続いて、手術をした事で日常生活にでてきた様々な変化についてお話しされています。

参加者

Aさん：3年前と2年半前に手術をされた方
Bさん：昨年手術された方
Cさん：昨年手術された方
Dさん：手術された方のご家族
Eさん：10年程前に2度手術をされた方
センター：センタースタッフ

Dさん： Bさん、服のボタンは自分でとめれるのですか？

Bさん： 今日、着ている服だったら、とめれます。

Dさん： とめれる！？

Cさん： 高い位置(首元)だけ？

Bさん： いや、この辺りまでは。(どの辺りかは分かりません…。すみません)

Cさん： できる！？

Bさん： はい

Dさん： 小さいボタンだけだねえ。

Bさん： 本当、最近ですよ。(出来るようになったの)

Cさん： 最初は、下のほう(についでいるボタン)からとめていかないとダメでしょ？

Bさん： いや、下のほう(に付いてるボタンをとめるの)は全然ダメなんです。何か、ある日突然できるようになった。

Cさん： 例えば(ボタンを)とめるにしても、段違いになったらダメだから、下のほうからとめていけばいいけど、先に上のほうを止めるとどこまでとめたかわからなくなるからね。できたり、できなかつたりもしたね。

Bさん： 状態が、行ったり来たりするよね。(よくなったり悪くなったり。)

センター： 今日、Bさんから話しにでてこなかったけど、事務所には常に温度計と湿度計があって、あとは気圧計を持っておられます。「気圧が下がると体調が変わる。」って。そんなに細かく見なくてもいいやーん！って思うんですけど。でもやっぱり気になるみたい。

Aさん： 自分の場合は、温度計だわ。

Dさん： やっぱり、温度は気になる？

Aさん： 気になるね。

Bさん： 身体が受け付けなくなるんですよ。

センター： 他の人もそういうことってあるのかなあ？って。

Dさん： 受け付けないってどういうこと？

Bさん： イライライライラするんですよ。

Aさん： あー！自分もある。なんか、イラツとする。

Bさん： それで、気圧計を見たら、下がってきてるんですよ。

Cさん： へ～。

センター： Cさんもそういうことってありますか？

Cさん： 私、鈍感だからそんなの分かんないですね～。

みんな： あはははは

センター： だから、そうなるのも手術と関係あるのかなあ？って。

Bさん： リウマチの人はよくあるって聞くけど。

Dさん： リウマチの人は、結構、湿度とか、寒い所とかっていろいろあるよね。

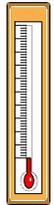
センター： 神経の関係だからだよな？逆に言えば首の手術も神経いじっているから関係あるのかなあ？って。

Bさん： あと、びっくりしたのは左右の脇で体温が違うんですよ。

Cさん： どれくらい？

Bさん： 36、9℃と37、8℃とかっていう時もあったよ。

Cさん： そんなに??



Bさん: で、看護師さんに聞いたら「脳卒中の人でもこういうことあるよ」って言われた。

センター: それも神経の関係なのかな？

Aさん: 神経！

Bさん: 神経の身体の悪いところは体温が低いみたいです。

Aさん: 確かに脳卒中の人は、右側は寒いけど、左側はやたらと熱いとかあるみたい。

Bさん: Cさんは状態がそんなに悪くないから、(温度差があるような症状が)ないのかも
し
れないですね。

Cさん: ただ、私の場合、足が冷たくて冷たくて、冷たさから痛さに変わるんですよ。

Eさん: あ！！！！

センター: あ～Eさんもなんだ。

Cさん: そうなんだ。

センター: そういう意味では、CさんもFさんも歩いておられるから、似たようなこともある
のかな？

Dさん: リウマチの人でも手術したりするもんね。リウマチの人でも、骨が変形してきて神経
がやられてしまって…とか。

Cさん: このあいだ、インターネットで見えていたんだけど、頰椎の7つあるうちで、大してず
れていないのに、神経触られる人もいるみたい。
私なんか、頰椎が10ミリぐらいずれてしまっても、こうやって生きてたわけなん
だから。

Bさん: やっぱり、神経って敏感なんだろうね。
そしたら、調整してまた集まれる時に集まりましょうか。
よろしくお願いします。

今回で最終回です。話しておられる雰囲気は和気藹々としているの
ですが、とても大切なことをたくさん話されていると実感しました。
少しでも参考になれば幸いです。
長い間、ありがとうございました。

公共交通機関による交通バリアフリーに関する拡充と矛盾感 (富山市編)



最近の富山市内では、ユニバーサルデザインとかバリアフリーとか横文字で言われるものが増えてきています。簡単に言えば『誰もが利用しやすい物』

しかし、当事者としての我々は、仕上がる前の段階では何も口出しの出来ない状況下で、いざ利用してみて修正をお願いをしてみたところで完成品には泣き寝入りするばかり。

最近、街の中でよく目にする光景があります。それは高齢者で荷物を入れられる手押し車(シルバーカート)の人や、ベビーカーの親子の姿なのですが、なぜこのような光景を目にするのかというと、近年ユニバーサルデザイン・交通バリアフリーについて単独にて調査をしている中での光景でした。

過去に友人との休日に、娯楽や買い物と交流の場に行ってきたことでの出来事からであった。それからユニバーサルデザインと言われているところを調査したくなりまして、そのときの移動手段として福祉タクシーというものは有るけれども高額であり、急な時間や悪天の時に利用するならばいたしかたがありませんが、その様な訳でもなく、安価で移動する手段は無いものかと考えていた。

いずれにせよ(当時)会社に勤務するにあたり低床バスがあればと言うことで、センターを通して調査をしてもらいました。むろん独自でも低床バスの通っている路線は調べました。

当方が住んでいる校区に通っている路線には低床バスというものが存在していませんでした。後にセンターより伝達されたのは「本社より、その路線は子会社となりましたので、そちらにお願いをしに行きましょう。」と言うことで、バス会社を訪問いたしました。「こちらとしては独自では決めかねません。」ということになり、県庁・国土交通省富山運輸支局へとセンタースタッフと一緒に陳情に行っていました。

その以前に富山市独自による第三セクター鉄道会社が開業していました。(旧富山港線)とやまライトレール:通称 ポートラム:LRT です。

当方が住んでいる校区に低床バスが走る前はよく利用していました。(自宅より電停まで車椅子移動で1時間10分)

ポートラムを利用するに当たり、ホーム(電停)は旧富山港線上は利用はしやすく改築はされていました。ただ困っているのは車両停車をする電停によっては車椅子の形状や用途操作方法によってですがキャスター(前輪)が隙間に填まる場合があります。そのようなことを踏まえて当方は(後輪から)バックで乗車することに心がけています。(電動車椅子:勢いよく前方より乗車により運転席後方に激突。)また、インテック・明治生命ビル前電停では車椅子の幅にもよりますが黄色い線(点字ブロック)の内側に入ると移動は出来ないこともあり、電車が発車したのち移動しなければならないこともあります。

それから1年数ヵ月後に、「低床バスが導入されました。」とのセンターより連絡を受け低床バス利用をしています。

一方、センターの近くを通りますコミュニティバスにつきましては、歩道のあるところと無いところに通りますので目的地に歩道のない場合は車道の側面上、つまりスロープを出すために対向車側に出る場合もあります。(コミュニティバス富山市内に関する路線コース:富山市街地まいどはや中央ルート・清水町ルート、呉羽いきいき長岡寒江ルート・古沢池多老田ルート、婦中3ルート、八尾、山田、大山、水橋)があります。

また路線バスにつきましても市街地では両側に歩道はありますが、郊外へいけば行くほどバス停の片側には歩道(スロープでの乗り降りできる)スペースが無く、バスを利用したい当事者は事前に乗るバス停と降りるバス停を調べておかなければなりません。

例えば、乗れるバス停は自宅より近くても、降りられるバス停は少し遠い場所の場合もあります。その逆の場合もあります。

また主要幹線道路では歩道があっても段差があったり・斜度のきつい坂もあるバス停もあります。

バス停によって、高さにも違いはあります。違いがあることで、バスの形状によりスロープを出せばフラットで乗り降りをスムーズに行えることも出来ますし斜度も緩やかになることもあります。一方幅寄せ次第では一般の方々には乗りにくい乗り物になることにもつながります。

なお、各路線ごとに低床バスの所有台数も異なりますので、事前予約は路線ごとに予約の遊具は取れたり、台数の少ない路線につきましては予約は控えて欲しいとのこと。路線ごとによって違いはありますので注意をしてください。

昨年12月に運営を開始した富山市内電車環状線、セントラム:LRTにはまだ2回しか乗ってませんが。ポートラムとは同型とは聞いていましたが、少し狭い気もしました。「なんだ、運転席側に仕切りが有るため？」そのように見えました。

後に調べたことですが、セントラム(新設電停)もポートラムもドアの開閉のため、乗り口の隙間は1、5cmより2cmにセッティングはしてあります。

もうひとつはホームと電車の乗り口について、LRTについては車内が満員状態の場合は車体が1cmほど沈み込む状態のしくみになっており満員状態を想定したフラットである状態が電停の高さ、つまりLRTは満員電車の場合はフラットであり、乗客の少ない場合は1cm車体が浮上しているので1cmの段差は我慢してください。との答弁でした。

なお、当方はセントラムの市内電車既存電停改修の電停より乗降をしたことはありません。センターよりの情報では危険度の高いことを聞いているため立ち入る勇氣はありません。

また、先日テレビにて市内電車新型を導入(LRV)運行開始する報道はみましたが、当方はまだ納得の出来ない部分があります、

交通バリアフリーについては、安全確保が優先なのか？バリアフリーの名の中での事故が起きてからの対応なのか？正直疑問に思うところです。



当方が心がけているもうひとつは、バス・LRTを降りるときに代金を払うのは当然ですが、代金を払うと共に「ありがとうございました。」と運転手さんに心を伝えることに勤めています。【それは中学時代学校でのときに担任先生が道徳でこのような話をされました。「バスや電車に乗って目的地まで無事に着けた喜びを感謝を込めて、代金と一緒に、『ありがとうございます、』と言っている。】それが心に染み、それ以来実行しています。これからも実行していきたいです。

それがあったから、最近では運転手さんから「気をつけて、いってらっしゃい」とか「気をつけて、帰れよ。」って声をかけられます。お互いに気持ちのよい乗り物であって欲しいと思うからです。

(記、自称：バリアフリー見直し隊・DANBO)

〈追 伸〉

低床(ノンステップ・スロープ)バス運行路線 (平成22年4月 現在) 富山地鉄駅前・富山駅北口並び市役所本庁前バス停にて確認調査を基に

【路線バス】

県立中央病院～県リハビリセンター(定時)、県立中  ンター(定時)、赤十字病院～藤木循環(不定期)、赤十字病院(駅前)～五百石(定時)、富山駅前～流杉(不定期)、富山駅前～高岡駅前(不定期)、富山駅前～小杉(不定期)、富山駅前～(小杉)新湊車庫前(不定期)、富山駅前～富山大学付属病院前(定期)、富山駅前(赤十字病院)～新港東口(定時)、富山駅前～(新庄)富山済生会病院、富山駅前～水橋東部団地、富山駅前～中滑川・滑川(不定期) 富山駅前～(上飯野)富山東高校、富山駅前～笹津(不定期)、富山駅前～猪谷(不定期)、富山駅前～辰尾団地(定時)、富山駅前～(熊野)八尾(不定期)、富山駅前～(長沢)山田、富山駅前～萩の島、富山駅北口～(呉羽)ファボーレ富山店北口、興人町団地～富山高専高校、富山北口～富山空港(旅客機時刻ごとに変更あり)、赤十字病院～県立中央病院(奥田ルート・新庄ルート・東町ルート)【黄一】

以上、路線バス低床路線です。

今後とも調べていく予定であります。
なお、コミュニティバス調査につきましては他調査隊が調査済みです。

ただいま、ポータル：LRTに接続するフィーダーバスの低床バス化を富山市に求めているところです。



牧口一二さんと語ろう！

「違うことこそ、ええこつちや」



3月21日にサンシップとやま601号室にて、牧口一二さんをお迎えして「違うことこそ、ええこつちや」というテーマで講演会を行いました。

牧口さんは大阪在住。長年、NHK・ETVの「きらっといきる」の司会を務められており、阪神・淡路大震災を契機に作られた被災障害者支援団体「ゆめ風基金」の代表理事でもあります。

当日は要約筆記と手話通訳をつけて、できるだけ多くの方に聞いていただけるようにしました。

学校を卒業して何社受けても受からない就職の壁にぶつかり、2年間家で過ごしていた時に友人から誘われてデザイン会社に入社。出資金を出すことになり、小・中学校時代の恩師をまわりお金を借りたこと。真っ赤な上着と7色の松葉杖で営業にまわったこと。軽妙な語り口に障害者差別の実態が浮かび上がります。



居場所について「ほんとに心置きなく何の不安も感じないでぐっすり眠れる場所をもてるかどうかだ」と牧口さんは言います。デンマーク人のバンクミケルセンが「心休まる場所をもっているかどうか。朝目が覚めた時に今日は1日どんなふうにごそそうとするかが大切なことだ」と。牧口さんもそうだと思って生き方に対して確かめていた時期があったそうです。

「僕は皆仲良くしたいのだと思う。仲良くしたい時はあの人と私は同じところないかなって探すでしょ。おなじ所ばかり探すから裏切られる。あなたと私の違うところどこかって探せばいい。」という牧口さんの言葉で講演会は終了しました。



自立生活支援センター富山の主な動き



〈この間の活動報告〉

2月24日(水) ケア会議開催	まちなか
2月25日(木) 自立支援協議会出席	富山市役所
2月26日(金) 相談支援事業者連絡協議会出席	あいネットいみず
3月1日(月) 第4回理事会開催	リーぶる事務所
3月5日(金) 事務局会議	リーぶる事務所
3月9日(火) 部落開放に取り組む富山県連絡会議学習会参加	東本願寺富山別院
3月10日(水) 送迎	富山市内
3月18日(木) 事務局会議	リーぶる事務所
3月21日(日) 講演会「ちがうことこそええこっちゃ」開催	サンシップとやま
3月22日(月) 講演会「今、激動の時」(分福主催)参加	センター サンシップとやま
3月25日(木) 専門支援ワーキング出席	和敬会生活支援センター
3月26日(金) 送迎	富山市内
3月27日(土) ゆめ風基金学習会参加	名古屋市内
3月28日(日) ゆめ風基金総会参加	名古屋市内
3月30日(火) まちなか運営委員会	まちなか
4月2日(月) 事務局会議	リーぶる事務所
4月7日(水) まちなか会議	リーぶる事務所
4月14日(水) 市民活動サポートセンター呼びかけ人総会参加	サンシップとやま
4月16日(金) 事務局会議	リーぶる事務所
4月20日(火) 出張ピアカン開催	高志授産ホーム
4月21日(水) 相談支援ワーキング出席	富山市役所
4月21日(水) 専門支援ワーキング出席	富山市役所
4月22日(木) 事務局会議	リーぶる事務所
4月22日(木) 障害程度区分研修出席	サンシップとやま
4月23日(金) 相談支援事業所連絡会	魚津市障害者生活支援センター



考えることから始めよう、防災のこと。 災害時の障害者・高齢者の現状と課題 (その2)

* 忘れないでほしいこと *

フォーラムをやった時に新潟の方からお伺いして「能登さん、この話だけはどこの会場で話す時でもいいつでも話して下さい」とお願いされた話が1つだけあります。どんな話かということ、新潟の水害の時です。新潟の堤防から2kmくらい離れて住んでいる高齢者のご夫婦がいました。川からちょっと離れているので、その日はすごい集中豪雨だったの。外は雨がザーザー降っている。高齢者のご夫婦、旦那さんは寝たきりで奥さんが旦那さんの介護をしながら暮らしていたのですが朝から大雨。どうしたかということと雨戸を閉めきる。玄関も閉める。夫婦二人で雨いやだねって言っていました。市の広報車がまわってきて「水害です。避難してください」と外で広報車がスピーカーでガンガン言うのですが、雨戸して雨が降ってたら聞こえますか。その家の奥さんは全然聞こえなかったそうです。



〈おことわり〉

1月31日の防災に関する講演会で「富山市防災ボランティアネットワーク会議」の会長である能登貴史さんの講演内容を抜粋してご紹介しています。講演会の全容については報告書にまとめましたので、お読みになりたい方はご連絡ください。

堤防が決壊してから4時間後、家の中にどんどん水が入ってくる。おばあちゃん一人でどんな気持ちしたのかな。そのおばあちゃん。僕はその話を聞いた時にすごく涙が出て。だって隣の家の人が避難する時に、ちょっと寝たきりの人がいるのではないのかな。あのおじいちゃん大丈夫け？。頭の片隅にちょっと入っているだけでドアをノックするわけよ。ガンガンと。実はそのおじいちゃんはおばあちゃんの腕の中で水の中で息を引き取られたそうです。それも堤防の真横に住んでいる家の人なら間に合わないのは仕方ないね。かわいそうだけれど。実は2kmも離れている家の人よ。水がどこまで来たか。床上50センチだって。わかる？。50センチってことは、そのおじいちゃんを階段1段か2段上げてあげればもしかしたらおじいちゃん亡くならなかったかもしれない。隣の家の人が早く避難しようといってくれて避難所に行っていたら。その話聞いたら胸がつまってね。

* 持ち出し袋の話 *

緊急持ち出し袋ですが、できれば1つ用意しておいてほしいのです。緊急持ち出し袋。これ色々な所でお話しているのですが、会社の社長さんにはゴルフコンペの景品にいいですよとか、社員の方の10周年記念の景品にしてくださいよと。実はこの緊急持ち出し袋は「自分で買わないけど欲しいもの」のNo.1です。そんなこと言わずに自分で買ってよと思うのですが。これ位入って金額にして安いもので3千円。高いものは4万5千円というものもありますが、安いので充分です。いくらものもいいのかとよく聞かれますが、いくらでもいいけど持ってるのと持っていないので全然違うよという話をしています。

あともう一つ。持ち出し袋あるじゃない。これね、能登の時にすごく僕は後悔したのです。あのお宅に行った時に、家の前でおばあちゃん一人おろしているのです。「おばあちゃん、どうしたの?」って聞いたら「避難所に今から行こうと思っているのだけれど持ち出し袋を持って行きたい」というのです。崩れかけた家の前で。「おばあちゃん、持ち出し袋どこにあったの?」と聞いたら「押入れの奥の方にあったような気がするのだけれど」というのです。わかりますか。人からもらった持ち出し袋はありがたみがないから、ふだん使わないじゃない。普段使わないものは皆さんどこにしまいますか。押入れの中だね。普段使わなくても安全ねと言いながら玄関に釘打って吊っておいてほしいのです。言ってることわかります?。玄関でどうかって議論もあるけど、僕は実は玄関に吊ってあれば本当にいざという時に持って逃げられるじゃない。そういうことも含めてまず持ち出し袋。

* 家族の写真 *

下の方に書いてあるのが家族の写真です。これは柏崎にお伺いした時にあったのですが、柏崎のボランティアセンターで一生懸命働いている職員さん。本当に頑張っていました。あっちいったりこっちいったり。その人は志願してモノを運ぶ担当。あっちの避難所こっちの避難所に足りない物を動かしていたのですが「なんでそんなに頑張っているの?」と聞いたら、全部の避難所に行きたいからだ。なぜと聞いたら、まだ奥さん見つかっていないからと。なんかその時つらくてね。「奥さんどんな人?」と聞いたら「丸くてぼちゃっとしてかわいい人」って聞いたけど、それではわからないものね。実は家族の写真は絶えず持ち歩いていますか。皆さん。かっこ悪いから持ち歩いていないよね。外国の人は持ち歩くけど日本人はシャイだから写真だけ持ち歩くことはできないです。僕これもアイデア。携帯電話の待ち受け画面に僕の奥さんと子どもの写真が入ってます。そしたら、どこかの避難所に行った時に「この人見なかった?」と聞いたら「あっちの隅っこに座っているよ」とか「階段の下にいるよ」と言ってもらえると思いませんか。携帯電話は電話するだけが能じゃないよ。こうした写真のギャラリーとして持っておく。「この子知りませんか?」とまわれるよね。

* ワークショップをやってみる *

ここにも書いたとおり、経験を積むことでイメージしやすくなります。そういう経験をつむということがどれだけ大事なことです。僕もそう思って体育館で一晩過ごしました。これは県のボランティアセンターの企画で避難所体験を一日やってみましょう。どうせやるのなら冬の寒い時にやってみましょうということになって2月にやりました。とんでもないですよ。冬の体育館。参加人数が50人で期限切れというか廃棄するはずの毛布がたくさんありまして。その時はラッキーだったのですね。ヒモで縛った毛布がたくさんあったので時代劇みたいな感じ。牢名主みたいな状態。毛布をこんなに集めてこんなかけて寝てもそれでも寒い。冬の体育館は寒いよ。僕らどんなワークショップをやったかと言ったら、その時はガールスカウト、カブスカウトも一緒だったのですが、ダンボールハウスを作ろうというワークショップをやりました。富山では段ボールハウスに悪い印象はないと思います。東京や大阪では段ボールハウスにお住まいの方がいるのでちょっとイメージ悪い方もいるかもしれないけど。ダンボールを加工して自分で泊まれる場所をつくろう。避難所ってプライバシーが全くないのです。僕ら能登に行った時も子ども達を集めてワークショップをやりました。パーティション作ろう。着替え場所を作ろうということをやりました。普段から電気屋さんや仲良くするとここに冷蔵庫のダンボールがあるから持ってかれ。最近のテレビは大きいからね。そういうのを集めて子どもたちと一緒にダンボールハウスを作ろうというワークショップをやってみました。これも1回やってみてね。おうちで。ダンボールでパーティションをどうやったら立つか。想像できますか。初めてやった人はパターンと倒れますよ。簡単にやるには蛇腹状にする。波板状にすると自立できます。それをきいておいただけでも。そういう経験をしてみる。いざというときに自分はどうするのかを考えておくことの大切さをちょっとでもわかってくれたら、インターネットで「災害ボランティア」と検索をかけてくれたら、今みたいなお話が山のように出てきます。いろんなヒントがあると思います。

日頃から頭の中で災害ボランティア、災害救援がまったくないという生活が今までだったと思うけど、いざ自分が災害になったらどうするの。答えはないです。僕はいろんなグッズをたくさんもっていて一番最初に死んじゃうかもしれない。それはわかりません。いざ来たときはしゃあないですけどね。でも、いざ来た時にこんな対処もできると。隣の人を助けられるじゃない。これで水害の話を書き出したから、隣に寝たきりのおじいさんがいたら自分が避難する前にドンドン「大丈夫ですか?」。それだけで1つの命が助かるかもしれないじゃない。大きい社会の仕組みの中で命を助けようと動いている。この間の鳩山さんは命の大安売りだったけれど。それは置いておいて。僕らでもちょっと頭の片隅にあるだけで助けられる命がもしかしたらあるかもしれない。聞いておくだけでも。頭の片隅にあるだけで助けられる命があるかもしれない。まず皆さん方の頭の中に置いておいてもらおうと嬉しいです。

* 家具が凶器となる *

富山の人は誰も転倒防止していないよね。自分の墓石じゃないですからね。頭の上にある家具は。絶対倒れてきますよ。これだけ見ておいてほしいのは、ああ残念。今日はちょっとないですけどもゴムの楔形のものがあるのです。絵を見せたらわかるように家具の足元に2個かましておくだけで震度6まで対応できます。実は突っ張り棒は設置が大変だし家具をチェーンで固定するのは話では聞くけどお金も手間もかかるし面倒くさい。楔形のゴム見つけた時、結構びっくりしました。



簡単に女性一人で設置できますよ。ずっとうちに置いていたのです。そしたら休みの日に奥さんと子どもで倒して足にかませてやっていたようです。そういうことでうちは大きい洋服ダンスに関してはこれをかましてあります。頭の上にある家具に関してはこわいですからね。特に寝室のダンス。あんな凶器ないですからね。寝室のガラス。必ず来ますよ。襲って。寝室のガラスに飛散防止シート。これも安くなりました。昔は飛散防止するだけで2~3万円とられたけれど、今は自分でやるのなら2千円で売ってます。2千円で血だらけにならないんなら安いもんだと思っただけ?。寝室の話でもう一つ。僕は2階なんですが寝室に必ずスリッパで行くようにしています。神戸に住んでいる僕の友達は寝室にスニーカーが置いてあります。なんで。夜逃げしやすいように?。ちがうよね。揺れがとまった時、自分は何とか助かったと周りを見渡したら木の破片、ガラスの破片、プラスチックの破片。全く歩ける状況じゃなかった。神戸に行った時は素足で足裏を切りまくって大変な状況になって逃げまどった人がたくさんいたと聞きました。それくらいだったら今日からできるでしょ。ベットまでスリッパで行けばいいだけだもん。

* 最後に一言 *

これだけ最後に言わせてください。いつものお出かけ。朝なんてそうなんです。忙しいでしょ。ばたばたしてるでしょ。朝出かぎに喧嘩した。奥さん、子ども。「あんた、いってこられま」と。怒って見送るとその顔が最後の顔になるかもしれないよ。べつに脅かしているわけじゃなくって。なので「いってらっしゃい」とにこって笑ってご家族に言ってあげてくださいね。これも実は柏崎で言われた話です。「朝ケンカしなきゃ良かった」って。そういう暗い話だけじゃなくて日頃からの行いが大事ですよということをご理解いただいて、富山も地震が来るんだよ。来ないことはないよ。今生で来なくても来世でくるかもしれないよ。いつ来るかわからないのが地震なので。そういうことが頭の片隅に入れておいてくれればうれしいなと思ってこの話を終わりたいと思います。どうもありがとうございました。(終了)

富山市の路面電車に、さらに新型車両(LRV)が導入



サントラム(桜橋電停)

富山市路面電車の環状線にセントラム(LRT)と既存軌道に新型車両「T100形」(LRV)サントラムが走り出した。環状線は以前から私たちが取り上げてきたものだが、今回は4月28日に新車両の三連接車両で低床式(愛知県豊橋市の路面電車と同じ型の車両)が、当面は南富山駅-富山駅前間のみを一時間に一往復するとのこと。(水曜日は点検のため運休)

車両は長さ16.3メートル、幅2.4メートル、床の高さは地面から38センチで、購入費は2億4,500万円(国が半分、県と市が8分の1を補助)。特徴としては、車いすでも乗り降りしやすいようにスロープがついているとマスコミなどで報じられていました。(写真の黄色いステップ分からスロープが出る。)

<電停の改修について>

新型車両「T100形」(LRV)サントラムが走るのは、南富山から富山駅まで。(富山駅から大学前までの区間は整備次第となっているようだが、途中にある神通川の富山大橋の架け替え工事をしているので、それが終わらないとこの区間は走らないのだろうか。)

さて、南富山から西町までは7電停はあると思いますが、改修工事が未だになされていないのは南富山、堀川小泉、西町、富山駅だが、他の4電停は幅107センチ、高さ31センチで両方向とも同じ規格で改修工事がなされているようです。南富山は、地铁の敷地だと思いのにな何故改修しないのかわからないが、堀川小泉は横断歩道橋が電停に渡してあり一番学生が利用す

るところなのでもあるのにどうして改修しないのだろうか。西町は、環状線と交じり合うところで、商店街から新電停の要請があるところなのでどうなるのでしょうか。



既存電停(上本町)↑↓、電車2cm高いが、電停幅は広い。



車椅子席、黄色い柱に降車ボタン



黄色い柱に降車ボタン



車内の様子、前方が進行方向



●規格違いの既存電停と電車が存在する路面電車

環状線の既存電停は高さ28センチ・幅は統一されていないようです。先にも述べたように新型車両が走る既存電停は幅107センチ、高さ31センチです。この高さの違いをスロープで対応するというのですが、今回サントラムを試乗してみて感じたことは、南富山～西町の間の4電停は割と広めに作られているが、電停と電車との隙間がだいぶ空いていますし、大差も2センチぐらい電車の方が高いようだ。

環状線の既存電停では、サントラムは4～5センチ電車の方が高いようだ。手動車椅子で介助者がいればスロープを引くまでもない。ただ電動車椅子が乗降するとき、スロープがあった方が車両と電停の隙間や高さは安全



荒町電停、4～5 cm 電車が高く、電停幅が狭い ↑



富山駅前、南富山行きの電停幅は広いが反対側は狭い。

性が確保されるだろう。

一番の問題は、富山駅前の電停はかさ上げがなされていないことです。私が乗ったときには富山駅前から乗られる人も

おられ、ましてや電動車椅子で乗降するには安全性や安心感がありませんし、乗降して下さる運転手さんも決して楽なものではないと思います。

富山の玄関口がこんなものではイメージもわるくなるのではないだろうか。



富山駅前、丸の内方面。30 cm 電車が高く、電停幅が狭い ↑↓



富山駅前、丸の内方面。スロープの長さが足りなくて使えない。↑



富山駅前、南富山行き
の電停。電停幅は広いが
かさ上げがされていないので、
車椅子は持ち上げてもら
うしかない。



富山駅前、南富山
行き
の電停マリエ側のスロー
プ。広くなめらかである。

●富山駅前電停のかさ上げがなされない事に対して、富山市から以下の回答を頂きましたので掲載します。

市相第528号
平成22年4月26日

平井 誠一 様

富山市長 森 雅 志

富山駅前電停の改修について (回答)

4月16日にお受けしましたご意見について、別紙のとおり回答いたします。

(担当) 市民生活部市民生活相談課
(電話) 直通 443-2045

(別紙)

富山市の公共交通について、ご意見をいただきありがとうございます。

ご意見のありました富山駅前電停は、電車を運行している富山地方鉄道(株)が施設を所有しております。新型車両セントラムが停車する電停は、市が工事費の支援を行い、富山地方鉄道(株)がホームのかさ上げなど改善を進めてきたところではありますが、富山駅前電停のホームについては、かさ上げ工事は行われておりません。

その理由としましては、ホームを高くする場合、出入りに設けるスロープの傾斜をゆるやかにするためには、スロープを長くする必要があります。しかしながら、富山駅前電停は両側を横断歩道に挟まれていて、現況のスロープ長と電車2系統分の停留長のスペースを確保することに限界があったことから、スロープを長くするかさ上げ工事を行えなかったと聞いております。

市といたしましても、車椅子のお客様が利用しやすい電停に改善していく必要があると考えており、電停のバリアフリー化については、施設を保有し電車を運行する富山地方鉄道(株)と共に検討してまいりたいと考えております。

(回答担当課：路面電車推進室)

第19回東海北陸車いす・市民交流集会 IN 愛知 開催要項

- テ** **マ**：**遊びから学ぼう** ～フィールドトリップの実践～
- 目** **的**：東海北陸地区に住んでいる障害者たちが、一堂に集まり、施設などで暮らしている障害者に対して、地域で生活する楽しさや面白さを伝え、また外出することにより、外出方法を学び、喜びを知り、介助やまちづくりなど身の回りに起きている問題について話し合い、お互いの力を高めあうことを目的に開催する。
- 開** **催** **日**：2010年6月12日（土）～13日（日）
- 会** **場**：1日目 朝日ホール（朝日新聞名古屋本社）
名古屋国際会議場白鳥ホール（交流会場）
2日目 愛知県社会福祉会館内ボランティア学習室（全体会）、
- 主** **催**：東海北陸車いす・市民交流集会 IN 愛知実行委員会（代表 江戸徹）
事務局：〒466-0037 名古屋市昭和区恵方町2-15A JU車いすセンター内
辻直哉 TEL：052-851-5240 FAX：052-852-4810
メール：kurumaisusyuukai@aju-cil.com
- 主** **管**：第19回東海北陸車いす・市民交流集会愛知集会実行委員会
- 共** **催**：朝日新聞厚生文化事業団
- 後** **援**：愛知県（予定） 名古屋市（予定） 愛知県社会福祉協議会（予定）
名古屋市社会福祉協議会（予定）

【集会プログラム】

- 6月12日（土） 会場：朝日ホール（朝日新聞名古屋本社）
- 13：00～ 受付
- 13：30～ 開会式
開会挨拶 愛知集会実行委員長 江戸徹
来賓紹介 朝日新聞厚生文化事業団
- 14：00～ 基調講演 遊びから学ぼう ～フィールドトリップ実践～
講師：三井孝夫さん（NPO法人 リアライズ 理事長）
- 15：00～ 休憩
- 15：15～ シンポジウム「私の遊びから」
シンポジスト：井川潤子さん（AJU自立の家 サマリア通信編集員）
東俊一さん（福井市在住）
若尾和成さん（静岡県車椅子友の会 事務局）
コメンテーター 三井孝夫さん（NPO法人 リアライズ 理事長）
コーディネーター 入谷忠宏さん（ヘルパーステーション・マイライフ刈谷 所長）
総合司会 長谷由香さん（自立生活センター十彩 代表）
- 16：30 終了
- 18：00～ 交流会 名古屋国際会議場白鳥ホール

6月13日(日) 会場: 愛知県社会福祉会館内ボランティア学習室

9:00~ 金山総合駅集合

9:30~ 分科会

第1分科会 トヨタテクノミュージアム

第2分科会 名古屋港水族館

第3分科会 大須散策

14:00~ 全体会 報告会

15:00~ 閉会式(閉会式終了後、随時解散)

【会場アクセス】

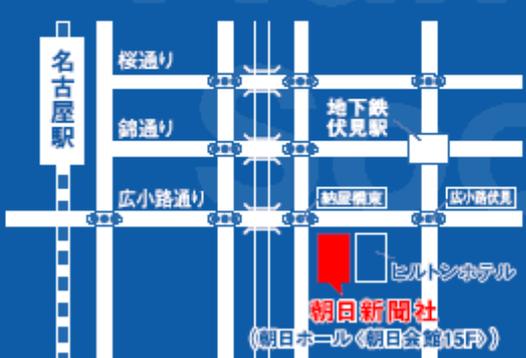
1日目

会場 朝日ホール (朝日会館15F)

住所
〒460-8488 名古屋市中区栄1-3-3

アクセス

- ・JR「名古屋」駅下車徒歩15分
- ・地下鉄東山線・鶴舞線「伏見」駅下車7番出口より徒歩5分



2日目

名古屋市中区丸の内二丁目4番7号 愛知県社会福祉会館内

